

## 定例記者会見（平成21年11月期）発表事項

### 1. 市職員の公金着服事件について

この度、大畑庁舎職員による公金着服という由々しき事件が発生しました。

市民の皆様のご信頼を裏切る不祥事として、衷心よりお詫び申し上げますとともに、その概要について御報告申し上げます。

この職員は、自身が担当していた所掌事務に係る福祉関連団体の預金通帳から、当該団体の運営に係る公金を本年8月4日から9月15日にかけて複数回にわたり、着服し、私事のために消費したことから、10月29日付けで、地方公務員法第29条に基づき、当該職員を懲戒免職処分としました。

福祉関連団体は、日本赤十字社むつ市大畑分区、むつ市防犯協会大畑支部及びむつ市大畑町青少年健全育成協議会の3団体で、市民の皆様からの善意による篤志でもって運営されている日本赤十字社むつ市大畑分区はもとより、福祉的啓発等のために運営されているむつ市防犯協会大畑支部及びむつ市大畑町青少年健全育成協議会並びに市民の皆様にご深くお詫び申し上げます。

なお、着服金額につきましては、3団体合わせて、75万9,060円ですが、すでに10月8日に職員の家族から全額弁済されており、当該団体の資金面における被害は解消されています。

今回の不祥事につきましては、入院中の当該職員自らが、手紙により着服の事実を申告したことから発覚したものであり、大畑庁舎において、この手紙を開封した10月5日の翌日に、入院中の当該職員と面会のうえ、着服の事実について間違いがないか調査確認を行い、この時点で着服金額も判明した次第です。

また、この職員自らによる申告がなければ、わかり得なかった公金の管理にも問題があることから、大畑庁舎管理職員4名の監督責任も免れないものと判断し、部長級及び次長級の職員2名に対しては減給処分、課長級の職員2名に対しては戒告処分と、それぞれ10月29日付けで懲戒処分を行ったところです。

かかる不祥事が発生したことは、私も慚愧に堪えないものであり、何よりも、市民の皆様のご信頼を損なったという紛れもない現実を厳粛に受け止め、再発防止に向けての措置を講ずるとともに、職員の綱紀粛正の徹底を直ちに促す所存です。

いずれにいたしましても、一度失われた信頼を回復することは、一朝一夕には

まいりませんが、私をはじめ全職員一丸となって、職務に取り組んでまいる所存でありますので、関係各位の御指導を切にお願い申し上げるとともに、市民の皆様に対して、衷心よりお詫び申し上げます。

## 2．農事組合法人みなみ農園開発の理事による現金着服事件について

市の指定管理者に指定されております、農事組合法人みなみ農園開発（代表理事 菊池順二）において、理事による現金着服事件が発生しました。

みなみ農園開発は、平成19年4月から、むつ市宮後牧野外4牧野の指定管理者となっており、指定管理期間は、平成22年3月31日までの3年間となっています。

去る9月7日、このみなみ農園開発において、理事が現金を着服していることが確認され、翌8日に市へ連絡があったものです。

その概要は、みなみ農園開発では、市内各金融機関に口座を開設して牧野使用料等の出納管理をしており、その通帳と印鑑は当該理事が管理していますので、8月分の牧野使用料等の入金状況を確認するため、8月末頃当該理事へ連絡しましたが、連絡がつかない状態となっていたところ、7日の朝、経理担当事務員が出勤し、自分の机の引き出しの中に、通帳のコピーが入れているのを発見しました。その残額が異常に少ないことや、8月に何度も現金が引き出されていたことから事件と判明しました。

その後提出された事件報告書によると、被害額は970万774円となっています。

これに対し、市は、直ちに指定管理業務の改善を勧告し、それに対する報告書が10月22日付で市へ提出されています。

その中で代表理事は、「当該理事は自分が連れてきた理事であり、その理事が事件を起こしたのは私の責任です。今回の事件は当組合内の事件であり、その責任は全て自分にあります。残りの指定管理期間も責任を持って全うします。」と明言していますので、更に指導を強化しながら対処してまいりたいと考えています。

### 3. 県道「九艘泊・脇野沢線」岩盤崩落事故の今後の復旧見通しについて

去る、10月12日正午ごろ発生した、むつ市脇野沢蛸田の県道「九艘泊・脇野沢線」岩盤崩落事故の今後の復旧見通しについて、報告します。

下北地域県民局道路施設課からの情報内容では、

平成21年度 測量・調査費 約 5,000千円

事業内容 落石箇所復旧 L = 20m ~ 30m

平成22年度 今調査の結果を踏まえ必要な際は、地域全体を再調査し、恒久対策の検討を行う予定

迂回路として、平成22年3月31日まで、脇野沢蛸田地区の漁港用地を利用することとなります。

### 4. 「青森県男女共同参画センターオープンカレッジ in むつ」の開催について

オープンカレッジは、男女共同参画の意義を分かりやすい内容で広く県民に啓発することで、問題解決型で実践的活動につながる意識啓発の場とすることを目的として開催しているものです。

今回は、市制施行50周年・合併5周年に因み、むつ市出身の皇室ジャーナリストで、元気むつ市応援隊の応援プロデューサーでもある「高清水有子」さんを講師に招き、11月28日(土)、むつ来さまい館で開催します。

日 時 平成21年11月28日(土) 13:30 ~ 15:30

会 場 むつ来さまい館 イベントホール (入場無料)

講 師 高清水 有子

演 題 『 明日の私 もっと自分らしく 』

~ 事件記者から皇室ジャーナリストへの転身 ~

主 催 青森県男女共同参画センター、むつ市

### 5. 「シンポジウム 下北からのメッセージ 2009」の開催について

~ 下北半島縦貫道路の早期完成を願って ~

下北半島縦貫道路(むつ市~七戸町間:約60km)は、現在、有戸及び野辺地バイパスの13.2kmが供用済みであり、有戸北バイパス、むつ南バイパス及び吹越バイパス合わせて21.3kmが整備中ですが、救急医療、防災や地域の活性化

などの観点から、さらなる整備促進と事業のスピードアップが求められています。

こうした背景を踏まえ、「下北未来塾」による演劇などを織り交ぜながら、「下北半島縦貫道路」のさらなる整備促進と早期完成に対する地元の認識共有を図りつつ、その熱意を中央に発信することを目的として開催するものです。

日 時	平成21年11月28日(土)	13:30~15:30
会 場	むつグランドホテル	(入場無料)
主 催	青森県	
共 催	むつ市、下北未来塾	